

一般社団法人日本顎関節学会 2018 年度事業報告書

I. 目的（定款第3条）

本法人は、会員相互並びに国内外の関連団体との交流を深め、顎関節学に関する基礎的及び臨床的研究、教育及び診療についての会員の能力向上を図るとともに、それにより地域社会における口腔の健康の維持と向上に貢献し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを会員共通の目的として、次の事業を行った。

- (1) 学術大会の開催に関する事業
- (2) 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催
- (3) 機関誌、及びその他の出版物の刊行
- (4) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業
- (5) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する研修機関等および研修制度の整備
- (6) 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業
- (7) 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究
- (8) 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流
- (9) 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業
- (10) 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰
- (11) その他本法人の目的を達成するために必要な事業

II. 学術大会の開催に関する事業（定款第3条1項）

1. 第31回学術大会

- 1) 会期：2018年7月7日（土）～8日（日）
- 2) 会場：北九州国際会議場
- 3) 大会長：鱒見進一（九州歯科大学歯学部顎口腔欠損再構築学分野 教授）
- 4) 共催：第23回一般社団法人日本口腔顔面痛学会学術大会
第33回一般社団法人日本歯科心身医学会総会・学術大会
- 5) 参加者：総計 777 名
 1. 事前参加登録者 545 名
 2. 当日参加登録者 225 名（含海外 4 名）
 3. 名誉会員 7 名
- 6) 演題：
 - ①企画演題
特別講演 3 題（顎関節 1、口腔顔面痛 1、歯科心身 1）
シンポジウム 2 題（合同 1、顎関節 1）
教育セミナー 5 題（合同 1、顎関節 2、口腔顔面痛 1、歯科心身 1）
モーニングセミナー 1 題（顎関節 1 題）
学術奨励賞受賞講演 1 題（顎関節学会）
ハンズオンセミナー全 2 部（第 1 部・第 2 部） 45 名受講
 - ②一般演題
口演（1 題発表 7 分、質疑応答 3 分） 36 題
ポスター（1 題発表 3 分、質疑応答 3 分） 75 題

●特別講演①

座長：岩田幸一

「感覚情報処理における脊髄グリア細胞の役割」(津田 誠)

●特別講演②

座長：福島洋介

「脳画像形態解析と心の病」椎野顯彦

●海外特別講演

座長：古谷野 潔、鱒見進一

「Artificial intelligence in orofacial pain diagnosis!」(Glenn T. Clark)

●メインシンポジウム

「痛みを究める～侵害受容性 痛, 神経障害性 痛, 心因性 痛～」

座長：鱒見進一、松香芳三、依田哲也

1. 痛みを究める～侵害受容性 痛～(小見山 道)
2. 三 神経の神経障害性 痛の診断に関するコンセンサス(今村佳樹)
3. 「心因性」と呼ばれる痛みとは何なのか?(豊福明)

●シンポジウム

「関節症の鑑別診断セミナー～顎関節の滑膜軟骨腫症, その診断と治療～」

座長：村上賢一郎、高橋哲

1. 顎関節の滑膜軟骨腫症, その診断と治療(儀武啓幸)
2. 顎関節における滑膜軟骨腫症の治療について(野上晋之介)

●教育セミナー①

「よく診る典型的痛みをどの様に捉えるか, 専門による違い」

座長：和嶋浩一

1. 慢性的, 難治性のアゴの痛み, 顔面の痛み～顎関節痛を生じる疾患～(川上哲司)
2. 慢性的, 難治性のアゴの痛み, 顔面の痛み
～顎関節部および顔面の持続痛に対する鑑別診断と治療～(村岡 渡)
3. 慢性的な舌痛～口腔内灼熱症候群の視点から～(大久保昌和)
4. 慢性的な舌痛～筋痛および筋膜性 痛から診た二次性舌痛症のとらえ方～(原 節宏)
5. 慢性的な舌痛～口腔外科リエゾン外来における慢性的な舌痛の診断と治療～(伊藤幹子)

●教育セミナー②

座長：小林 馨

「DC/TMD 診断のための画像検査」(森本泰宏)

●教育セミナー③

座長：安彦善裕

「歯科医師のための認知行動療法の基礎と実践」(松岡紘史)

●教育セミナー④

座長：和嶋浩一(慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室)

セルフケアの効果を高めるコミュニケーションスキル(堀越 勝)

●教育セミナー⑤

「口腔顔面および顎関節の痛覚過敏における末梢および中枢神経機構」

座長：岩田幸一(日本大学歯学部生理学講座)

1. 顎顔面口腔領域における 痛伝達機構の可塑的变化(篠田雅路)
2. 顎関節痛を調節する下行性 痛制御機構について(岡本圭一郎)

●ランチョンセミナー1

座長：和気裕之（みどり小児歯科）

「BUTLER Palpeter による顎関節，咀嚼筋への触診および BUTLER GrindCare による睡眠時ブラキシズムモニタリングとその低減について」（小見山 道）

●ランチョンセミナー2

座長：村上賢一郎

「下顎頭の前方滑走を誘導する新型開口訓練器「ヤセック開口訓練器」を用いた開口訓練の実際」（儀武啓幸）

●ランチョンセミナー3

座長：依田哲也

1. 使ってみよう，歯科適応のある漢方薬（福島洋介）
2. 口内炎に対する半夏瀉心湯の有用性について—がん支持療法の副作用対策—（大宮雄司）

●ランチョンセミナー4

「デジタルライゼーションは歯科医療を変えることができるのか？」（杉元敬弘）

●モーニングセミナー

「歯の痛み・口腔違和感の脳機能イメージングと診断・治療」

座長：島田 淳、羽毛田 匡

1. 他覚所見で自覚症状を説明できない症例にはどのように対応すれば良いか（澁谷智明）
2. 歯の痛み・口腔違和感の脳機能イメージングと診断・治療（小野弓絵）

●平成 29 年度学会賞学術奨励賞（覚道健治賞）受賞講演

座長：佐々木啓一

「非復位性顎関節円板障害に対する運動療法の効果に関する検討」（山口賀大）

●ハンズオンセミナー

座長：築山能大

「DC/TMD の診断法—筋圧痛検査と関節痛誘発試験—」

講師・インストラクター：

和嶋浩一、小見山 道、大久保昌和、石垣尚一、原 節宏、松香芳三、村岡 渡、有馬太郎、鳥巢哲朗、前川賢治、飯田 崇、佐藤 仁

●市民公開講座

「神経障害性 痛について」

座長：今村佳樹

1. 治らない歯の痛み～その痛み，神経障害性 痛かもしれませんよ～（坂本英治）
2. どうしたら治る!? 神経の痛み!!（椎葉俊司）

Ⅲ. 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催（定款第 3 条 2 項）

1. 第 45 回学術講演会

開催日：2018 年 10 月 21 日（日）

会場：鶴見大学会館メインホール

講師、講演内容：

【顎関節症に関連する外科的治療のアップデート】

パート 1：顎関節症の鑑別診断と外科的治療

講師：村上賢一郎（赤穂市立病院）

パート 2：顎関節の画像診断（ハンズオン：MR 像トレース実習含む）

講師：五十嵐千浪（鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座）

- パート3：顎関節洗浄療法と顎関節鏡視下手術
講師：川上哲司（奈良県立医科大学口腔外科学講座）
- パート4：咀嚼筋腱・腱膜過形成症の手術
講師：濱田良樹（鶴見大学歯学部口腔顎顔面外科学講座）
- パート5：顎関節開放外科手術
講師：高橋 哲（東北大学歯学部顎顔面・口腔外科学分野）
- 参加者数：106名（会員99名、非会員4名、研修医3名）

2. 第46回学術講演会

開催日：2019年2月10日（日）

会場：日本大学1号館 大講堂

講師、講演内容：

【顎関節症インタラクティブコース】

- パート1：顎関節症の病態分類と診断（レクチャー）
講師：矢谷博文（大阪大学大学院歯学研究科）
- パート2：顎関節症と鑑別が必要な疾患（レクチャー）
講師：高木律男（新潟大学）
- パート3：顎関節症の画像検査（ハンズオン：パノラマX線像トレース実習含む）
講師：本田和也（日本大学）
- パート4：顎関節症の診察・検査・診断（ハンズオン：開口域計測、触診実習を含む）
講師：小見山 道（日本大学松戸歯学部）
- パート5：顎関節症の各病態に対する保存的治療（レクチャー）
講師：西山 暁（東京医科歯科大学）
- 参加者数：66名（会員55名、非会員6名、研修医5名）

3. 第47回学術講演会

開催日：2019年5月26日（日）

会場：愛知学院大学歯学部基礎教育研究棟

講師、講演内容：

【顎関節症の鑑別診断コース ―それ本当に顎関節症ですか？―

（各種鑑別を有する疾患についての詳細解説）】

- パート1：顎関節症の病態分類と診断
講師：小木信美（愛知学院大学歯学部）
- パート2：画像検査による顎関節症の鑑別
講師：有地榮一郎（愛知学院大学歯学部）
- パート3：顎関節症と鑑別が必要な疾患①（有痛性疾患）
講師：井川雅子（静岡市立清水病院）
- パート4：顎関節症と鑑別が必要な疾患②（外科的疾患）
講師：川上哲司（奈良県立医科大学）
- パート5：顎関節症と鑑別が必要な疾患③（精神疾患）
講師：小見山 道（日本大学松戸歯学部）
- 参加者数：57名（会員46名、非会員6名、研修医4名、学部学生1名）

4. A 2-day Clinical Course/Training and Calibration in Diagnosis of Criteria for Temporomandibular Disorders (DC/TMD)

開催日：2018年8月11日（土）～12日（日）

会場：日本大学松戸歯学部

講師、講演内容：

< 1日目 >

- ・ Introduction of DC/TMD
講師：Per Alstergren (Malmo University 教授)
- ・ DC/TMD Axis I
講師：築山能大 (九州大学大学院歯学研究院 教授)
- ・ DC/TMD Axis II
講師：小見山 道 (日本大学松戸歯学部 教授)
- ・ ランチョンセミナー
(サンスター株式会社, サンスター・スイス SA 協賛)
講師：Peter Svensson (Aarhus University 教授)
- ・ DC/TMD のデモンストレーション(実習)
- ・ DC/TMD の相互実習 (実習)

< 2日目 >

- ・ DC/TMD の相互実習(実習)
 - ・ 模擬患者を用いた DC/TMD の実習(実習)
 - ・ ランチョンセミナー (サンスター株式会社, サンスター・スイス SA 協賛)
講師：Peter Svensson (Aarhus University 教授)
 - ・ 実習からのフィードバック, 症例提示
講師：Per Alstergren (Malmo University 教授)
 - ・ 筆記試験
 - ・ How to implement DC/TMD、Future directions for DC/TMD
講師：Per Alstergren (Malmo University 教授)
- (セミナー全行程に参加し、認定試験に合格された方には修了証を授与)

参加者数：認定セミナー申込者29名、聴講のみ7名

IV. 機関誌、及びその他の出版物の刊行 (定款第3条3項)

- 日本顎関節学会雑誌：4回発行（うち1回は大会抄録集）
第30巻特別号（2018年6月発行）
第30巻2号（2018年9月発行）
第30巻3号（2019年1月発行）
第31巻1号（2019年4月発行）

- 30周年記念号

V. 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業 (定款第3条4項)

【新規認定】

< 専門医および指導医 >

2018年指導医、専門医試験を実施。

2018年11月11日（日）東京駅八重洲倶楽部第7会議室

11:00～12:00＝記述試験、13:20～13:50＝口頭試問

指導医1名、専門医2名を新たに認定。

<新認定医>

●ポスタープレゼンテーション審査

実施日：2018年7月7日（土）、8日（日） 会場：北九州国際会議場

受審者16名中14名を合格、2名を条件付合格と判定した。

●講習会・筆記試験を2019年2月11日（日）に実施。

会場：日本大学歯学部研修医講堂

講習会内容

臨床解剖	講師：下田信治（鶴見大学歯学部 教授）
画像診断	講師：小林 馨（鶴見大学歯学部 教授）
DC-TMD	講師：古谷野 潔（九州大学大学院歯学研究院 教授）
スプリント	講師：鱒見進一（九州歯科大学歯学部 教授）
制度説明	講師：高木律男（新潟大学大学院医歯学総合研究科 教授教授）

筆記試験

最終的に受験者10名中10名を合格と判定。

（ポスタープレゼンテーション審査に申請・合格すれば、本資格取得となる。）

<研修機関>

2018年度中の新規申請は無し

【更新認定】

2018年12月31日が認定期限となる方々の資格更新審査を実施。

<対象者および結果>

●専門医および指導医の両資格（同時更新）：

74名中59名が更新。13名が保留申請。2名が更新辞退。

●指導医：3名中3名が更新。

●専門医：61名中36名更新。10名が保留申請。15名が更新辞退。

※辞退者は全員終身指導医（現在は研修機関の代表指導医ではない）

●研修施設：66施設中44施設が更新。15施設が保留。7施設が更新辞退。

●関連研修施設：8施設中8施設が更新。

VII. 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業

（定款第3条6項）

VIII. 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究（定款第3条7項）

IX. 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流（定款第3条8項）

●第31回学術大会の日本口腔顔面痛学会、日本歯科心身医学会との共催。

●A 2-day Clinical Course/Training and Calibration in Diagnosis of Criteria for Temporomandibular Disorders (DC/TMD)

X. 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業（定款第3条9項）

●学術大会の運営

●各都道府県歯科医師会への「新顎関節症の病態分類」の学術講演に関する本学会からの講師派遣依頼等。

●神奈川歯科大学同窓会（2018年10月28日）

XI. 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰（定款第3条10項）

●平成30年度学会賞学術奨励賞

受賞候補者名：高嶋真樹子（新潟大学医歯学総合病院顎関節治療部）

受賞論文名：顎関節症長期病悩患者におけるエゴグラムチェックリストを活用した
自己状態の検討

（日本顎関節学会雑誌29巻2号掲載。）

XII. その他本法人の目的を達成するために必要な事業（定款第3条11項）